

「最近のISPネットワーク事情を 語るパネル」

JANOG27.5 interim meeting

2011/04/11(木)

目的

- 酔った勢いでピアが出来なくなったように、ISPが使用しているプラットフォームやOS、ハマったBug情報やルーティングの構成など、いつも間にか“門外不出化”してしまい、それぞれのエンジニアが持つノウハウを語りにくい時代になってしまった。
- 今一度、持てる知識を持ち寄り、ISPが抱える最近の悩みを共有し、どうすればこれからのISPの設計や運用を良くすることが出来るのかを議論したい。

ISPにおける昨今の課題

1. IPv6

2. バックボーン拡張

1. スケール拡張

2. トラフィック効率化

3. 激甚災害対応

- それぞれの内容についての悩みや実例を各パネリストからご発表いただく。

本日の構成

- IPv6
 - 「IPv6 DADについて」
KDDI 斎藤 洋行さん
- バックボーン拡張
 - 「ネットワーク運用者のスケールに関する悩み」
NECビッグロブ 川村 聖一さん
 - 「CDNキャッシュサーバーによるコンテンツ配信の効果と課題」
ドリーム・トレイン・インターネット 石崎 豊さん
- 激甚災害対応
 - 「東北地方太平洋沖地震によるサービスへの影響について」
NTTコミュニケーションズ 浜田 泰幸さん
- まとめ
 - 全パネリスト
 - モデレータ:NTTコミュニケーションズ 吉村 知夏

質疑

まとめ

- ネットワークを維持するにあたって課題はつきもの
 - IPv6、バックボーン拡張、予期せぬ事態、、
- できるだけコミュニティを活かし、可能な範囲で情報共有していく
- 各パネリストから
 - 今後の設計にあたって気を付けなければいけないと思う点、抱負など